

---

**第2日 3月9日(月) 午後の部 A会場 (共通講義棟 B3棟 117教室)**

---

- 14:00 A212 **Ames 変異原性予測ソフトウェア xenoBiotic (第2報)**  
○澤田敏彦<sup>1</sup>, 橋本智裕<sup>1</sup>, 和佐田裕昭<sup>1</sup>, 利部伸三<sup>2</sup> (<sup>1</sup>岐阜大・地域科学, <sup>2</sup>岐阜大・名誉教授)
- 14:15 A213 **新規病害防除剤アミノピリフェンに関する研究 (第1報) -合成展開および構造活性相関-**  
○相澤亮, 畠本正浩, 岡田至, 本間敦子, 荒木恒一, 福地俊樹 (アグロ カネショウ株式会社)
- 14:30 A214 **新規除草剤 TOLPYRALATE の定量的構造活性相関**  
○宮本秀範, 菊川弘司, 永山宗一郎, 大北達哉, 塚本正満 (石原産業株式会社)
- 14:45 A215 **ABA アゴニスト Quinabactin をリード化合物とした抗 ABA 活性物質の探索**  
○高杉航平, 福崎悠史郎, 山田直隆 (九州大院・農)
- 15:00 A216 **ストリゴラクトン生合成を阻害するプロピコナゾール類縁体の創製**  
○高橋郁夫, 小石原暉, 浅見忠男 (東大院・農生科)
- 15:15 A217 **新規複素環ストリゴラクトン生合成阻害剤の探索**  
○川田紘次郎<sup>1</sup>, 内田裕也<sup>1</sup>, 野村崇人<sup>2</sup>, 佐々木康幸<sup>1</sup>, 浅見忠男<sup>3</sup>, 矢嶋俊介<sup>1</sup>, 伊藤晋作<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>東京農大・バイオ, <sup>2</sup>宇都宮大・バイオ, <sup>3</sup>東大院・農生科)
- 15:30 A218 **水稻用フェンキノトリオン (エフィーダ®) 混合剤に関する研究 (第3報)**  
**シメトリン・ピリミスルファン・フェンキノトリオン混合剤の特性**  
○藤平欣孝, 菅原秀美, 大野修二 (クミアイ化学工業(株))
- 15:45 A219 **新規除草剤ランコトリオンナトリウム塩に関する研究 (第1報)**  
○宮下めぐみ, 菅沼丈人, 小林庸輔, 井櫻賢二, 佐野真喜子 (石原産業株式会社)
- 16:00 A220 **新規殺虫剤オキサゾスルフィルに関する研究 (第4報) -水稻育苗箱施用剤の防除効果-**  
○坂本えみ子, 所尚美 (住友化学株式会社)
- 16:15 A221 **ホソヘリカメムシに対する幼若ホルモン (JH) および JH 様活性物質 (JHM) の殺卵活性評価**  
○成瀬祥矢<sup>1</sup>, 荻野眞由子<sup>1</sup>, 中川貴雄<sup>1</sup>, 品田哲郎<sup>2</sup>, 三浦健<sup>1</sup>, 水口智江可<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>名大院・生命農, <sup>2</sup>大阪市大院・理)
- 16:30 A222 **7,8'-epoxy-8,7'-neolignan 及び(-)-, (+)-  $\gamma$ -diisoeugenol の細胞毒性、及び、病原性カビに対する抗カビ活性**  
○菊池菜央<sup>1</sup>, 西脇寿<sup>1</sup>, 秋山浩一<sup>2</sup>, 菅原卓也<sup>1</sup>, 山内聡<sup>1</sup> (<sup>1</sup>愛媛大・院農, <sup>2</sup>愛媛大・総科支セ)
- 16:45 A223 **新規病害防除剤アミノピリフェンに関する研究 (第2報)**  
**-抗菌スペクトルと実際の使用場面での防除効果の概要-**  
○畠本正浩, 相澤亮, 國府田こごみ, 福地俊樹 (アグロ カネショウ株式会社)
- 17:00 A224 **タマネギベと病の主要登録殺菌剤による二次感染発病抑制効果:  
散布間隔の平均が13~17日になった5試験事例のメタアナリシス**  
○田代暢哉, 正司和之<sup>1</sup>, 荷田瑞穂<sup>2</sup>, 中山伸一, 宮崎尚子, 浦川綾子, 宮口邦子, 田中義樹  
(佐賀上場営農セ, <sup>1</sup>佐賀農業セ・<sup>2</sup>バージニア工科大)
- 17:15 A225 **イネの酢酸処理による乾燥耐性付与機構の解明**  
○原なつき<sup>1</sup>, 手嶋萌映<sup>1</sup>, 吉永直子<sup>1</sup>, 土生芳樹<sup>2</sup>, 寺石政義<sup>1</sup>, 奥本裕<sup>1</sup>, 森直樹<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>京大農, <sup>2</sup>農研機構)
- 17:30 A226 **農業に関する教育およびリスクコミュニケーションの技法の開発 (第3報)**  
**-宍道湖での漁獲量減少に関する論文の教材化『アマサギはなぜ消えた?』-**  
○巢山弘介 (島根大・学術研究院)
- 17:45 A227 **農業に関する教育およびリスクコミュニケーションの技法の開発 (第4報)**  
**-『〇月〇日が誕生日の農薬たち』の検索と『農薬 日めぐり』の作成-**  
○巢山弘介 (島根大・学術研究院)
-